

# 山行報告書

日時	2015年10月1日(木)～5日(月)	天候	終日 晴
山名	穂高岳(前穂高岳～奥穂高岳、北穂高岳)と涸沢の紅葉		
CL	花田	参加者	吉田 (総勢2名)

(コース)

10/1(木) 17:40福岡空港～19:15羽田空港～23:00新宿西口～(夜行バス)  
 10/2(金) 5:00上高地(天候の回復まち)12:00～14:00岳沢小屋  
 10/3(土) 6:30岳沢小屋～重太郎新道～10:00前穂高岳～吊尾根～  
 13:00奥穂高岳～14:00穂高岳山荘  
 10/4(日) 6:00穂高岳山荘～ザイテングラート～8:00涸沢(紅葉散策)10:00  
 ～12:00北穂高岳～14:30涸沢小屋  
 10/5(月) 6:00涸沢小屋～パノラマコース～8:30屏風の耳～11:00徳澤～  
 13:00上高地～16:30松本空港～18:00福岡空港

(コメント)

10/1(木) 出発の日、爆弾低気圧の影響で山は大荒れとの天気予報であったが、何とか予定していた飛行機とバスで上高地までたどり着くことができた。  
 10/2(金) 朝5時、まだ暗い上高地では強風が吹き荒れ、時折スコールのような雨。当初の予定コースを逆回りに変更することを決め、天候の回復を待ちながら上高地で待機。おそらく明日は台風一過のような晴天だろうと思うと、期待で胸がいっぱいという心境だった。雨雲は強風のためか意外と早く吹き飛ばされ、お昼前には青空が！ 穂高連峰を見ながら登る岳沢は、白樺やダケカンバの黄葉が金色に輝きとても綺麗だった。2時間程で岳沢小屋に到着(岳沢小屋は定員60名、満員の場合は予約不可なので注意)。小屋では夕食時に同席した福岡の男性おふたりと盛り上がり、楽しいひと時を過ごした。宝満山のキャンプ場を管理しておられるN鉄山岳部の方とのこと、どこかで再会できる日がくるような気がしている。



10/3(土) 夜中は満天の星空、朝から快晴であった。岳沢小屋(標高2180m)から紀美子平(標高2919m・高低差739m)への重太郎新道は、長い梯子や鎖場が続く岩稜帯で緊張とワクワクの連続だった。岩場には鎖がかかっているのが目印となり、道に迷うような所はなかったような記憶。ひたすら目の前の岩を手足を使って登り上がるという感じだ。ずっと眼下に見えている上高地の景色がだんだん小さくなっていく。紀美子平から前穂高岳まではピストン、わたしだけザックをデポする。必要な物はCLが持ってくれ、荷物の軽量化の必要性を痛感した。前穂高岳山頂では360度のパノラマ、写真や動画を撮り食事など1時間くらい満喫した。紀美子平からは吊尾根というギザギザの尾根を約2時間、足場はどこもザレており浮石も多いので特に下りが油断できない。緊張の場面こそ写真におさめたかったが、初めての穂高でそんな余裕はなかった。いつも上高地から見上げていた穂高の稜線を歩いているんだという感激は、これからもずっと忘れることができないと思う。奥穂高岳山頂から今まで歩いた尾根を振り返るとうるうるした。奥穂の先には次なる尾根「ジャンダルムと西穂高岳」が見えていた。「あ！頂上に人がいる！」





10/4(日) 朝日を見ようと涸沢岳を目指したが、朝日が昇り始めた頃からあたり一面真っ白のガス。山の天気は女心と同じらしい。今日はザイテングラートを下り、北穂高岳をピストンする予定である。計画段階で「北穂に登るならそのまま涸沢岳から穂高小屋へ行けば？」と先輩からアドバイス有。慎重なCLは「そこまでの技術はない」と判断、自分の力量にあった山の選択だと思った。さて、そのザイテングラートとはドイツ語で「岩壁の側面の支稜」との意味らしい。この時期は大変込み合うとのことで早めに通過し、涸沢の真っ赤なナナカマドの下でラーメンを食べ、北穂高岳へとピストンした。山頂からは槍ヶ岳へと続く大キレットがガスの中から見え隠れしていた。



10/5(月) 涸沢から上高地まではパノラマコースを歩くことにした。このルートはよく崩壊する所があるようだが、小屋のHPでリアルタイムな情報が発信されているので通行出来ることは確認していた。何箇所か岩場のトラバースがあったが、特に危険ではなかったように思う。名前の通り、涸沢と屏風岩の紅葉のパノラマを目の前に見ながら、屏風の耳という頂に登り上がる。穂高連峰を眺めることができる最高の展望台という感じで、今回の山行の最終日を締め括るにこの上ない絶景が楽しめた。名残惜しくなかなか帰ろうと言い出せなかった。そんな気持ちがあったからか、下山の時間は上高地に12時に到着したかったのに、徳澤に12時と勘違いしてしまった。途中の食事時間をカットし標準タイムの半分で徳澤まで走るように下りた。15分でお風呂に入り松本行きのバスに飛び乗る。間に合った！福岡マラソンへのいい練習になったということにしておこう。

憧れの穂高連峰、その一部をこうして歩くことができ充実感でいっぱいです。  
今回の山行を企画してくださったCL、  
いろいろご指導いただきました諸先輩方、  
山のお天気のお神様(?)  
みなさまに感謝申し上げます。

(記 吉田)



費用概算

(交通費 約¥36,000/人)	飛行機SKY(福岡→羽田)	9,900
	夜行バス(新宿→上高地)	8,000
	バス&電車(上高地→松本)	2,450
	飛行機FDA(松本→福岡)	15,700
(その他 約¥25,000/人)	小屋(3泊)	25,000